

2020 年度実施概要

学校名

柳井市立伊陸小学校

採択活動名

持続可能な未来の海へ

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 事前学習	5, 6	総合学習
2. 「海を知る」「海を利用する」	5, 6	総合学習
3. 「海を守る」	5, 6	総合学習
4. 「海に親しむ」	5, 6	総合学習
5. まとめの発表会と講義聴講	5, 6	総合学習

取り組みの概要

<事前学習>当初来校予定の和歌山市在住の講師とオンラインにより、世界の海、日本の海の概要や和歌山と山口の海の比較学習を実施した。

<1回目の授業>テーマ:「海を知る」「海を利用する」

大島商船高等専門学校の協力のもと、操船シミュレーターを見学し、実際に舵輪を握って関門海峡の航海をバーチャル体験した。また、停泊中の練習船において航海士から海の現象や船の仕組みなどについて聴講した。続いて、実習船に乗船し大島瀬戸で潮流を体感しエネルギーの利用について考察した。小学校に戻り潮流エネルギーを思い出しながら発電実験装置を使って発電を試みた。

<2回目の授業>テーマ:「海を守る」

スクールバスで柳井市内の砂浜海岸へ行き、県環境アドバイザーを講師に、付近の川のごみの状態を見学し、次に砂浜に移動して漂着した各種のごみを拾い集めて海洋プラスチックごみの多さを体感し、どのような種類のごみが多いかを調べ、放置する事による生物への悪影響を考えるとともに、普段の生活環境へも思いを馳せる学習を実施した。

<3回目の授業>テーマ:「海に親しむ」

第1回目で乗船見学した大島瀬戸の沿岸に行き、水族館飼育学芸員を講師に磯観察をして魚貝類の生息状況から付近海域の



環境状態を判定する学習を実施した。

<まとめの発表会と講義聴講>

事前授業と三回の校外学習で得た知識をまとめて和歌山市の3小学校とオンラインで発表会を開催した。小規模校で単独実施ではなく、多くの児童に対して発表会を行う事で大規模校に類似した他校と多くの児童と交流をして、発表し合う事により自分たちで行った体験学習の内容だけでなく遠くの海の様子と同じことや違いを知る事ができた。

これを契機にして、さらに日頃接する事のない大学の先生による講義を実施した。講義を聞いて視野を広げ、質問により知識を深めることができた。

